

成道館通信

平成26年8月
第157号

〒739-1734
広島市安佐北区口田4丁目9-23-303
電話082-841-3389
FAX082-841-3389
<http://seidoukan.net/>



朝顔や
一輪深き
淵の色

与謝蕪村

中高進学フェアin安佐南・安佐北 進学説明会・相談会

10/12
(日曜)

〈会場〉
安佐南区民
文化センタ

14:00~
17:00
時間内
自由参加

個別面談方式

(先生と直接話せます)

参加予定校

(中学校)

安佐北 新庄 崇徳 広島城北
安田女子

(公立高校)

安佐北 可部 祇園北 高陽 高陽東
国泰寺 沼田 舟入 基町 安西
安古市

(私立高校)

広陵 新庄 崇徳 広島城北
文教女子大附属 安田女子
(もう少し増える予定)

対象 小学生・中学生・保護者

主催：NPO進学支援ネットワーク広島北
問い合わせ：成道館 841-3389

昨年も書きましたが

読書

読書が大切なことはみなさんご存知のことと思います。国語の授業をやっていると読書の大切さをつくづく感じます。

中学生に論理的思考力を伸ばすプリント・テキストを使用して授業を行っていますが、読書量の差は大きいものがあります。

中3は入試問題の中から「抽象・具体の関係（言い換える力）」に関する問題だけを取り上げて練習しているのですが、読書をしてきた子とそうでない子の差は非常に大きいものがあります。長文と言えるほどの文章はやっていないのですが、文章を読んだ理解力・思考力に大きな差があります。

小中学生の保護者のみなさん、夏休みの間にぜひ読書をさせてください。ゲームの時間を削って読書をさせてください。ゲームをやっている間は脳はほとんど働いていません。

ゲームをやめさせて読書をさせるのも親の責任だと思います。

ただし↓

速読反対

いろいろなところで、速読がもてはやされているようですが、小学生のうちから速読させて何になるのでしょうか。入試読解のために速読させるのはナンセンス。こんなことでは国語力は身につけません。小学生には精読、そして多読です。

速読で小説の描写がどこまで読めるのでしょうか？ 速読で純文学は読みきれません。小説の中にあるテーマを読み取るなど文学的文章の面白さを読むことはできません。

ある作家はこういいます。

本の中の様々な仕掛けや、意味深い一節、絶妙な表現などを、みんな見落としてしまっている可能性がある。大切なのは、立ち止まって、「どうして？」と考えることだ。本というのは、そういった疑問を持った瞬間に、そういう疑問を持った人にだけ、こっそりとその秘密を語り始めるものなのだ。

成道館では、文学的文章も論説的文章も考えながら読んでいく訓練を行っています。「考えながら読んでいく」ことが大切なのです。回り道をしながら考え、読んでいく。これによって、論理的思考力が養われるのです。



8月・9月の予定

8月

24日 崇徳文教模試

27日 夏期講習会終了

9月

1日 授業開始

21・23日 期末試験対策

崇徳・文教公開模試

実施日：8月24日（日）

受験料：無料

受験会場

男子：崇徳高校

8：20から受付

女子：広島文教女子大学附属高校

9：00から受付

申込締切：8月19日（火）